

第74回例会

SHIEN 学と「対話によることばの教育」の交差点

■ 話題提供 ■

館岡康雄さん(一社)SHIEN アカデミー代表理事、
元日産自動車日産ウェイコーディネーター
細川英雄さん(言語文化教育研究所)

事前申し込みが必要です

参加費無料

■ 日時 ■

2021年 6月12日(土) 14:00~16:00

オンライン開催 (Zoom)

お申込みはこちらから→ <https://tinyurl.com/yk32f3zf>



館岡康雄氏が創始した SHIEN 学は、1995年ごろから大きく変わってきた社会状況において、管理から支援が必要とされた中で生まれる。その支援を発展させ、SHIEN という思想・概念に結晶化させたものである。さまざまな問題が解決するというより、消えていく科学と言える。事柄(見えるもの)のみに焦点を当てるのではなく、見えないもの(関係性)などを含んだ合理性を扱っている。新しい企業論、組織論、コミュニケーション論であり、在り方の科学とも言える。

一方、ことばの教育における対話の意味については、さまざまに指摘されるとおり、自己と他者との関係性に根差すものである。それは、対話によって違いを調整するだけではなく、わたしとあなたで社会と世界をどう創っていくのかに向かうことでもある。

今回の企画では、こうした SHIEN 学と対話の有効性や発展について、それぞれの知見を共有しつつ、ことばや社会の構築や更新をめざして、私たちが考えるべき、新しい教育や世界のあり方について対談を行う。

※非会員の方もご参加になれます。

※本例会は、録画録音され、その動画が You tube 上に公開される可能性があります。

お問い合わせ：言語文化教育研究学会企画委員会 Email:project@alce.jp



話題提供者紹介

舘岡康雄先生

略歴 博士（学術）。東京大学応用化学科卒業。日産自動車中央研究所に入社し研究開発、生産技術、購買、品質証部門を経て、人事部門で、世界一のV字回復と謳われた日産ウェイの確立と伝承を推進。その後、静岡大学大学院MOTで経営学の教鞭をとる。かたわら1996年「プロセスパラダイム」「コースパラダイム」という概念を提唱。SHIEN学を確立し、2001年から国内外で活動を開始。主な著書『利他性の経済学：支援が必然となる時代へ』（新曜社）、『シナジー社会論：他者とともに生きる』（共編著：東京大学出版会）等



細川英雄先生

略歴 博士（教育学）。言語文化教育研究会ALCE代表理事。早稲田大学名誉教授。言語文化教育研究所八ヶ岳アカデミア主宰。専門は言語文化教育学。ことばと文化の教育をめぐる市民性形成とwell-being（よく生きる）をめざした言語教育の理論と実践について研究している。2001年、早稲田大学大学院日本語教育研究科開設に教務主任として関与、2013年3月早期退職。近著『対話をデザインするー伝わるとはどういうことか』（ちくま新書2019）等

